

刑事政策

科目ナンバリング CRL-304
選択 2単位

堀田 晶子

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は、前半で各種犯罪対策について検討し、後半で犯罪者処遇論を取り上げる。後半は主に施設内処遇・社会内処遇の現状を学び、両者の連携の在り方を模索する。特に矯正・保護の問題と向き合い、「更生とは何か」、「社会復帰とは何か」について主体的に考える力を養う。期末試験に加え、授業の中で適宜、ミニテストを課す。

2. 授業の到達目標

- ①各種犯罪の実態を統計資料をもとに分析し、その対策を具体的に検討することができる。
- ②矯正・保護の現状を把握し、その実態と課題について自分の言葉で説明することができる。
- ③矯正・保護に関する専門的な知識をもとに、犯罪者処遇について客観的かつ主体的に考えることができる

3. 成績評価の方法および基準

試験及びミニテストにより評価します。評価配分目安は、試験70%、ミニテスト30%です

4. 教科書・参考文献

教科書

法務省法務総合研究所編 『犯罪白書一平成の刑事政策』(2019) (法務省HPからも閲覧可能)

守山正・安部哲夫[編著] 『ビギナーズ犯罪法』(2020) 成文堂

守山正・安部哲夫[編著] 『ビギナーズ刑事政策(第3版)』(2017) 成文堂

辰野文理[著] 『要説 更生保護(第3版)』(2018) 成文堂

参考文献

太田達也 『仮釈放の理論—矯正・保護の連携と再犯防止』(2017) 慶應義塾大学出版会

太田達也 『刑の一部執行猶予—犯罪者の改善更生と再犯防止[改訂増補版]』(2018) 慶應義塾大学出版会

朴元奎＝太田達也[編] 『リーディングス刑事政策』(2016) 法律文化社

藤本哲也・生島浩・辰野文理[編著] 『よくわかる更生保護』(2016) ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

授業にしっかりと取り組むことが第一です。毎回の授業で扱うテーマについて、自分で考え、まとめる力を養いましょう。疑問点が出てきたら、図書館を大いに活用し、テキストや参考書等を熟読し、学術論文にもあたってみてください。法務省や警察庁など公共機関のHPも参考になります。刑事政策は、まさに現在進行中のテーマを扱いますので、日頃から新聞やニュース等に触れておきましょう。自分で調べても答えが出ない問題については、友人と議論したり、教員に質問したりすると良いでしょう。

6. その他履修上の注意事項

①春期の「犯罪学」と「少年法」を履修しておくことが望ましいです。また、秋期は「被害者学」を同時に履修することをお勧めします。

②授業をよく聞いて、その都度レジュメに書き込むか、ノートを取るようにしてください。自分で書いて、理解することが大切です。授業の内容が聞き取れなかった場合は、あやふやのままにせず、すぐに教員に確認してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション—刑事政策とは何か—
- 【第2回】 刑罰論 財産刑
- 【第3回】 各種犯罪対策① 薬物犯罪
- 【第4回】 各種犯罪対策② 組織犯罪
- 【第5回】 各種犯罪対策③ ストーカー
- 【第6回】 各種犯罪対策④ 児童虐待
- 【第7回】 矯正① 受刑者処遇の基本原則—刑事収容施設法の成立—
- 【第8回】 矯正② 矯正処遇の3本柱
- 【第9回】 矯正③ 開放的処遇
- 【第10回】 矯正④ 仮釈放と満期釈放
- 【第11回】 保護① 更生保護とは何か／保護観察官と保護司
- 【第12回】 保護② 更生保護を支える人々
- 【第13回】 保護③ 更生保護に関わる施設
- 【第14回】 保護④ 矯正と保護の連携
- 【第15回】 秋期のまとめと試験(予定)